

青森県／IT駆使し発注業務効率化

ユビキタスネットワークで県民生活、行政サービス向上

建設IT最前線

CALS/EC新時代

地方自治体の取り組みを見る

本州最北端の青森県。2010年の東北新幹線青森駅の開業を控え、地場産業の活性化、新産業の創出の期待が高まっている。一方、少子高齢化の進行、経済のグローバル化、情報ネットワークの進展、環境意識の高まり、地方分権といった課題に直面。現在、このような時代の大きな潮流変化に対応し、ITを積極的に活用した地域づくりを推進している。企画政策部情報システム課の長崎誠一課長と井澤謙治主任、県土整備部整備企画課の加藤清和副課長と三上俊孝総括主任に青森県のIT化戦略、CALS/EC(公共事業支援統合情報システム)の取り組み状況などについて話を聞いた。

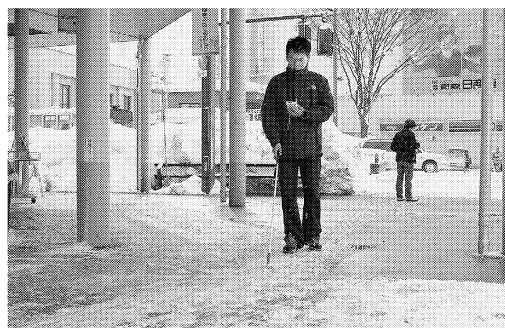
本紙 青森県の情報化の基本方針は、

長崎 本県では04年12月に、「暮らしやすさのトータルプラン」を策定し、「暮らしやすさ」をキーワードとした生活創造推進プランを策定しました。プランでは、「暮らしやすさ」は、これに負けない地域の実現に向け、08年度までに重点的に取り組む10項目の分野やプロジェクトを設定しています。そのプロジェクトの一つが、ユビキタスネットワーク技術の活用により県民生活や行政サービスの向上、産業の活性化に主眼を置いた「ユビキタスあおり推進プロジェクト」です。現在、県民生活の向上、産業活性化、行政電子化、環境づくりの四つの戦略分野ごとに具体的な事業を進めています。

本紙 このうち行政電子化の取り組み状況は、

長崎 政府の「IT新戦略」では、都道府県は08年度までに、市町村は10年度までに電子申請システムを整備することを目指して取り組んでいます。本県の申請・届出システムのオンライン化は来年度まで完了するところですが、他県と比べて後発の取り組みですが、逆に一番早く最も高い機能なサービスを提供したと評価されており、その手法としてASP利用型のシステムの導入を予定しています。

副知事をC-IOに
民間からIT専門家を
長崎 本県は04年に、副知事をC-IO(最高情報責任者)に「IT戦略推進委員会」を組織し、情報システム投資の推進を促しています。この委員会は、情報システムの信頼性、安全性の確保とセキュリティ高体制により、IT活用による県民の利便性の向上と行政運営の効率化、高度化及び透明性の向上などの効果が期待できると考えています。



ゆきナビあおりプロジェクトでの視覚障害者歩行支援技術の実証実験

暮らしやすさNo.1の地域づくり 10項目の重点分野・事業選定



企画政策部情報システム課長 長崎 誠一氏



企画政策部情報システム課IT専門監 井澤 謙治氏

覚醒者誘導用ブロックに内蔵されたICタグを白杖の先に付けたセンサーで読み取り、音声をより現在の地の情報や方向内情を提供し、また実験エリア内の施設や店舗に設置されたICタグや各種マーカーのUcode(ユニコード)をICタグ(ユビキタス・コムニケータ)が読み取ることで、店の詳細情報が津軽弁などで紹介されます。こと11月から2月にかけて、柳町商店街で実証実験を行い、積雪地域での実用性を検証しました。

またICタグ付きカードを使って顧客の嗜好(しゅご)に合った商品情報を提供するユビキタスショップを2月5日から1カ月間、大坂大学メディアセンターの下條真司教授らと五所川原市のショールームセンターで実施しました。

行政サービスでは、昨年度から河川情報を携帯電話にメール配信するサービスを試行し、本年度から本格運用します。そのほか、三内山遺跡の出土品管理にICタグを導入しています。

普及啓発事業では、子どもたちを対象にした「ユビキタス・君なら何する？」というワークショップを、知事の首演で行っています。小中学生に、ユビキタス技術が実現する便利な未来社会を自由な発想で創造してもらおうというのが趣旨で、本年度で3年目になります。

09年度めどに電子納品全面適用 11月から電子入札も運用開始

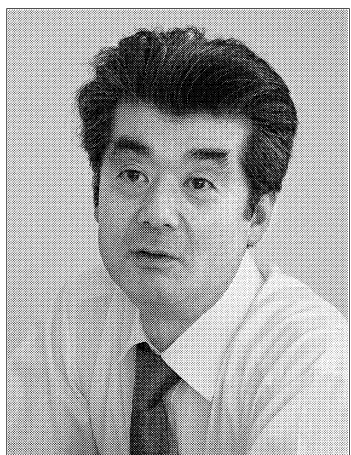
本紙 CALS/EC関係の研修を運営するための「青森県CALS/EC研修センター」を4月に青森県建設技術センター内に設立しました。県市町村職員、県内の建設関係業者を対象に、電子入札操作・電子納品研修、ITスキルアップ研修などを本格的に実施します。

また今年、青森、弘前、八戸、五所川原、十和田、むつ、陸奥の7地区で電子入札説明会を開き、運用スケジュール、機器の準備、要領などについて説明します。

本紙 発注者側の担当者や地元業者のCALS/ECへの対応力は、三上 職員については05年度以降、コンサルトから電子納品された図面の発注設計書の加工方法などを教育する講習会を行っています。昨年度にはCADの基礎研修を行いました。本年度は中級研修を18回実施し、前年度受講できなかった者を対象にした基礎研修も2回行う計画です。



県土整備部整備企画課副課長 加藤 清和氏



県土整備部整備企画課総括主任 三上 俊孝氏

FUKUI COMPUTER

実務で使える電子納品対応CAD 体験してみませんか?

体験版では3つのプログラムが30日間ご利用いただけます

- 土木CAD (+CAD製図標準アシスト)** わかりやすい画面構成と、土木業務に最適化された機能が好評のCAD。体験版には「CAD製図標準アシスト」もついており、エラーチェックから修正まで自動処理してくれます。
- 電子納品** 「ファイル登録ナビ」が図面や成果資料を自動で仕分けしてくれる電子納品支援プログラム。誰でも簡単に扱える操作性で、全国の建設業の方をはじめ、発注機関からも多くの支持を得ています。
- 写真管理** ドラッグ&ドロップ操作で直感的に扱える写真管理プログラム。数千枚単位の膨大な写真データでも、これまでの製品に比べ圧倒的なハイスピード処理を実現しています。

さらに充実のラインナップ

- 面積計算/盛積計算
- 縦横断計算/縦横断面
- 構造物数量計算
- 出来形管理
- 各種断面図/出来形図
- コンクリート品質管理
- 路盤計算/路盤図
- アスファルト温度管理

●「EX-TREND 武蔵」は、国土交通省をはじめとした各発注機関の電子納品要領(案)に対応しています

4割を超える発注者が採用する信頼の「EX-TREND」シリーズ

「EX-TREND」シリーズの導入実績(自社調べ)

電子納品管理ソフトの導入が完了している35府県のうち、15府県の導入実績を誇る「EX-TREND」シリーズ(※1)。電子納品事情を知り尽くした福井コンピュータは、発注者と受注者の双方において、スムーズなIT化移行を実現するシステムソリューションを提供し続けています。

(※1) EX-TREND 官公庁専用シリーズ、(TREND) 電子納品管理システム(※2)
(※2) 各都道府県における、EX-TREND 官公庁専用シリーズの導入状況。(平成18年2月現在)

無料体験版が完成! この使いやすさと便利さ、そして確かな成果を実感して下さい! 日本の建設事情を知り尽くしたCALS対応システムです。

体験版のお申し込みは ☎ www.fukuicompu.co.jp